



鬼高っ子

令和4年度学校だより 4月号

令和4年4月11日発行

市川市立鬼高小学校 No.1

文責：校長 黒岩大二



入学、進級おめでとうございます



今年度、鬼高小学校校長を務めます黒岩大二です。どうぞよろしくお願いいたします。
鬼高小に来るまで、市川市・船橋市・松戸市の中学校で音楽の教員を務めていました。
平成15年から4年間は、鬼高小学校で管弦楽部の指導を担当していたことがあります。
当時の部員たちや先生方と一緒に、様々な場面で演奏したことが懐かしい思い出です。

今年度、鬼高小は児童数887名、29学級でスタートします。今後数年間は児童数が増加傾向にあります。まだまだ、新型コロナウイルスの感染拡大防止策をとりながらの学校運営が続きますが、子ども達の安全を第一にしながら、学校生活でしかできない体験活動を大切にしていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



学校教育目標 「未来を創る」

～他者とともに 自分らしく生きる 鬼高っ子～

㊦思いやりの心を持って ㊧人間性豊かに ㊨たくましく ㊩かがやく未来

学校教育目標は、「未来を創る」です。

現行の学習指導要領の「前文」には、次のように示されています。

「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」



これは、我々が目指すべき教育の姿が集約された、素晴らしい一文だと思っています。大きな変化が予測される、そしてすぐ目の前まで来ている「Society5.0」と呼ばれる社会を生きていく、「未来の創り手」である子どもたちが、その可能性を広げ、多様性を尊重しながら、豊かな人生を切り拓いていけるよう、我々教職員一同力を合わせ、ご家庭と連携して子どもの夢の実現を支えていきたいと思っています。そして、その基盤となるのは、健康な心と体です。ご家庭、地域の皆様とともに子どもたちの未来を創っていけるよう、お力添えをよろしくお願いいたします。

「未来タイム」が進化します

昨年度、タブレットを活用した学習やプログラミング教育、キャリア教育などを中心に行う時間として、月曜日の6校時に「未来タイム」がスタートしました。今年度も次のような学習内容を計画しています。



【「未来タイム」の具体的な学習内容】

- プログラミング教育（各教科で行うプログラミング学習、オゾロボットやメッシュ等のプログラミング教材、スクラッチやマイクラフトなどのインターネット上のプログラミング教材の活用）
- タブレット（教室）やパソコン（PC室）による各教科の調べ学習、プレゼンテーション
- Teams を活用した学習
- 「NHK for school」のプログラミング教育の番組などの視聴と活動
- キャリア教育（キャリアパスポートなど）
- オリパラ教育（障がい者理解、ボッチャ体験など）
- その他



昨年度、「未来タイム」は月曜日の6校時に一斉実施していました。教師も子どもも新しい学びに向かう意識を高めるには十分効果があった一方、改善点としてPC室や教材の利用希望が重なってしまい、子どもたちに不便な思いをさせてしまうこともありました。そこで、今年度は学級毎、異なる時間に設定することとしました。1月からはタブレットが1・2・3年生にも配付されています。「未来タイム」を十分に活用して、それぞれの学年の発達段階に応じた学習をすすめていきます。5月のGW明けに始まりますので、楽しみにしててください。

児童の写真掲載についてのお願い

本校では、教育活動を皆様を紹介するために、学校便り、ホームページ等に児童の写真を掲載することがあります。写真は個人を特定できないようにする等、児童のプライバシー保護に留意しています。

今年度、お子様の写真の掲載承諾確認方法が変わります。4月7日に配付した、「児童調査票」の裏面に、写真掲載承諾についての欄が新設されましたので、ご記入をお願いいたします。ホームページには、行事や学習の様子、毎日の給食の写真などを掲載していきます。ぜひご覧ください。

◎4月の行事予定は、各学年の学年だよりでご確認ください。